

# 地域とともに歩む東和銀行

## ■地域社会の発展とともに

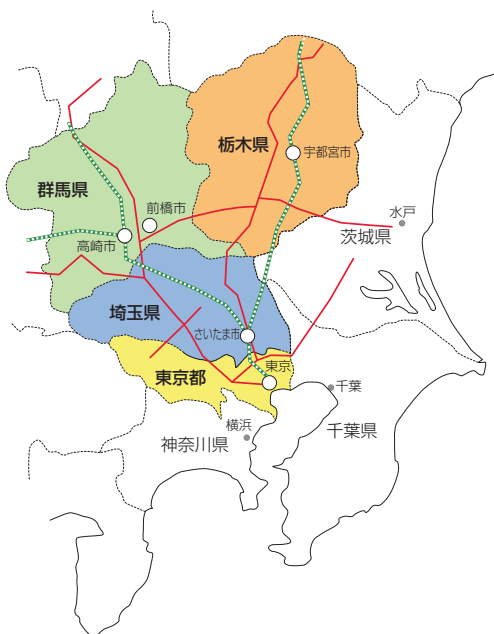
当行は大正6年の創立以来、地域のための銀行として地域社会の発展とともに歩んでまいりました。

当行が営業基盤とする群馬県及び埼玉県は、首都圏のベッドタウンとして、また、交通インフラに恵まれた産業・観光地帯として発展を遂げています。

### 北関東を中心とした営業基盤

北関東は、経済の中心である東京都に隣接する地理的条件の良さも相まって、首都を取り巻く経済圏として発展を続けています。また、経済の発展とともに、当行のお取引先である中小企業の皆さまの経済活動も広域化しています。

当行は北関東の群馬県・埼玉県を中心に店舗網を構築していますが、このネットワークを活かして、それぞれの地域社会の皆さまの活発な経済交流を支援するとともに、豊かな暮らしづくりへのお手伝いを通じ、信頼を築き上げてまいりました。



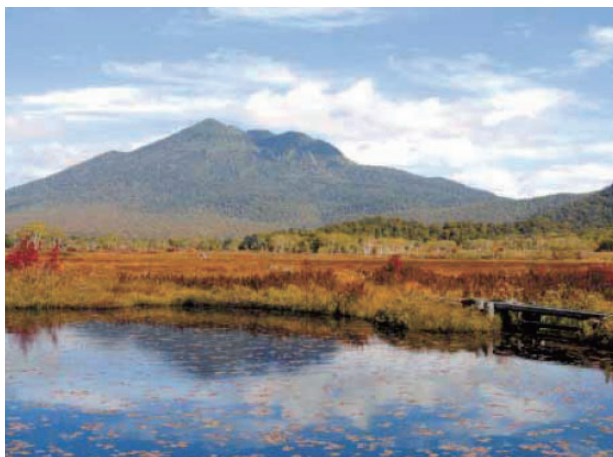
### 産業と自然に育まれた地域社会と恵まれた交通ネットワーク

群馬県は日本列島のほぼ中央に位置し、美しい自然や数多くの温泉地など観光資源が豊富で、1年を通して行楽客・観光客が絶えません。産業は製造業が活発で、輸送機器が製造品出荷額の約30%と最も多く次いで食料品（約10%）、化学（約7%）の順となっています。

関東平野の中央に位置する埼玉県も、秩父の山々など自然に恵まれ、人口が全国で5番目に多いことを背景に商業が発達し

ており、工業では輸送機械、化学、食料品の3業種が1兆円を超過出荷額で全国有数の内陸工業県となっています。

また、当行の営業地域は、関越・上信越・東北・北関東自動車道・圏央道などの高速自動車道路網と、上越・長野・東北新幹線の高速鉄道網が整備された地域であり、首都圏と各地方を結ぶ経済・産業の要衝として、近年著しい発展を遂げています。



尾瀬



関越自動車道

## ■地域密着型金融の推進に関する取り組みについて

当行は、平成19年度下期から平成21年度までを計画期間とする「プランフェニックス」に基づき、平成20年1月に「地域密着型金融推進計画」を策定して地域密着型金融の強化に取り組んでまいりました。この推進計画につきましては、目標として掲げた経営指標9項目のうち8項目が目標を上回る実績となり、ほぼ計画を達成することができました。

平成22年度からは、平成21年12月に策定した新しい経営強化計画「プランフェニックスⅡ」に盛り込んだ地域密着型金融推進のための具体策を着実に実行するよう努め、地域との共存共栄を目指して地域密着型金融の高度化に取り組んでまいります。

なお、平成21年度までの計画において目標未達となった「ビジネスマッチング成約件数」につきましては、平成22年度からの推進計画に盛り込んでおり、今後も継続して取り組んでまいります。

### 1. 平成21年度までの地域密着型金融推進計画で目標とした経営指標と実績

| 項 目                                    | 指 標                                 | 目標<br>(平成22年3月) | 実績<br>(平成22年3月) | 目標比  |
|----------------------------------------|-------------------------------------|-----------------|-----------------|------|
| (1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化          | ①創業・新事業支援融資実績                       | 160件            | 192件            | 32件  |
|                                        | ②ランクアップ率<br>ランクアップ件数<br>経営改善支援取組み件数 | 10%             | 29%             | 19%  |
|                                        | ③再生計画策定率<br>再生計画策定先数<br>経営改善支援取組み件数 | 25%             | 45%             | 20%  |
| (2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の活用 | ①私募債引受件数                            | 10件             | 21件             | 11件  |
|                                        | ②BIZ-クイック実行金額                       | 100億円           | 119億円           | 19億円 |
|                                        | ③ABL（動産・債権担保）スキームによる融資実行件数          | 10件             | 16件             | 6件   |
| (3) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献          | ①経営者セミナー他各種セミナーの開催回数                | 40回             | 75回             | 35回  |
|                                        | ②ビジネスマッチング成約件数                      | 80件             | 9件              | △71件 |
|                                        | ③年金相談会開催回数                          | 700回            | 839回            | 139回 |

※平成22年3月期の目標及び実績は、平成19年10月から平成22年3月までの累計数値です。

### 2. 新たな地域密着型金融推進計画の概要

#### <基本方針>

「雨でも傘をさし続ける銀行」として金融仲介機能を発揮し地域との共存共栄を目指す。

#### <取組み期間>

平成21年度下期～平成23年度

#### <重点取組み事項>

- (1) 中小規模事業者等に対する信用供与の実施体制の整備
- (2) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化
- (3) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底
- (4) 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

### 3. 平成22年度からの地域密着型金融推進計画で目標とする経営指標

(単位：件)

|                                | 23/3期<br>計画 | 24/3期<br>計画 |
|--------------------------------|-------------|-------------|
| 創業・新事業開拓支援                     | 30          | 30          |
| 経営相談                           | 80          | 95          |
| 早期事業再生支援                       | 20          | 20          |
| 事業承継支援                         | 1           | 1           |
| 担保・保証に過度に依存しない融資促進             | 400         | 400         |
| 合計（経営改善支援等取組み数）                | 531         | 546         |
| 取引先※                           | 11,400      | 11,480      |
| 経営改善支援取組み率（％）（経営改善等支援取組み数／取引先） | 4.65        | 4.75        |

※「取引先」とは、企業及び消費者ローン・住宅ローンのみの先を除く個人事業者の融資残高のある先で、政府出資主要法人、特殊法人、地方公社、大企業が保有する各種債権又は動産・不動産の流動化スキームに係るSPC、及び当行の関連会社を含んでおります。

## ■地域金融機関としての役割

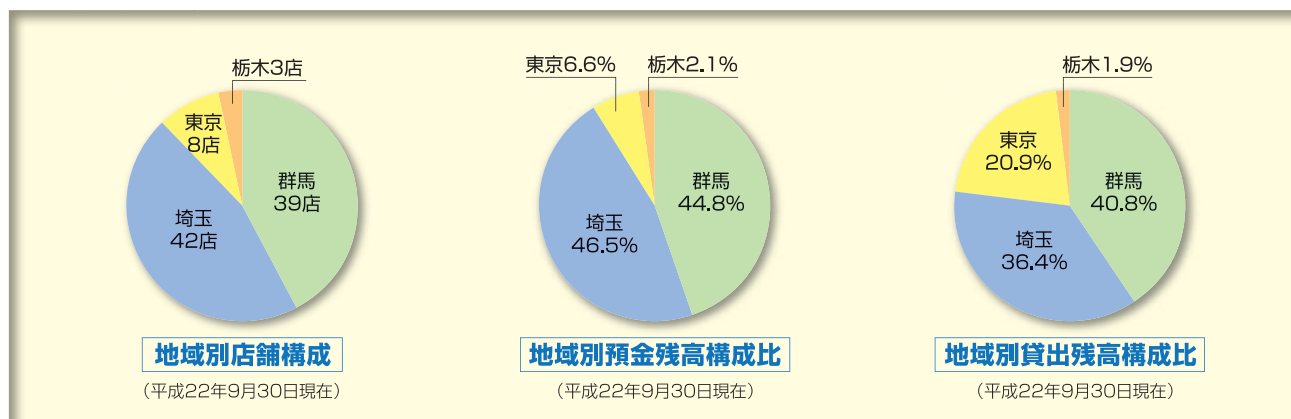
経済のグローバル化や情報通信技術の発展から、産業構造が大きく変わっていきな、その対応に迷われるケースが多くなっていると思います。当行は、こうしたお客さまへの適切な情報提供、専門的な立場でのアドバイスや財務面でのお手伝いを、きめ細かに行ってまいります。

また、こうした変革により新しい産業が創出されますので、次代を担う新しい産業や企業の芽を育て、地元企業や地場産業の発展に金融機能を通して貢献していくことが、私たち地域金融機関の使命と考えています。

一方、当行は誰もが暮らしやすい豊かな地域社会を作り上げ発展させていくために、地域社会の一員として、環境保護・文化事業の開催や協賛・スポーツ支援などの活動を行っています。良き企業市民として当行がなすべき活動や、行員が自主的に取り組む活動など、地域社会に根ざした活動の輪を広げています。

当行はこれからも、地道で息の長い活動を続け、地域社会とともに歩んでいきたいと考えています。

### 1. 地域への資金還元（信用供与）による貢献について



### 中小企業・個人向け貸出の推移

当行は、営業地域のお客さまからお預りした大切な預金を地域の中小企業や個人の皆さまへの貸出に向けています。

平成22年9月末の総貸出は1兆2,166億円で、そのうち79.2%の9,630億円が中小企業及び個人の皆さまへの貸出となっています。



## 2. 地域振興への貢献について

### ボランティア活動

地域行事や各種団体活動に対して、寄付や協賛により援助を行うとともに、多くの行員が各種ボランティアとして参加しています。

ボランティア活動のうち、本部主管の平成21年度の主な活動実績は下記のとおりです。

#### 平成21年度活動実績

|              |      |                 |
|--------------|------|-----------------|
| ①ぐんま県民マラソン   | 93人  | ランナーの受付や記念品配布など |
| ②献血          | 57人  | 赤十字血液センター       |
| ③尾瀬のゴミ持ち帰り運動 | 19人  | 尾瀬でのゴミ袋配布       |
| 合 計          | 169人 |                 |

また、各種募金や、障害者施設で作成するカレンダーを購入などの資金面での援助も行っています。



ぐんま県民マラソン



献血

### 環境保護活動

#### 尾瀬のゴミ持ち帰り運動

いま、地球環境問題が世界的規模で関心を集め注目されていますが、美しい地球を守り続けていくことは、私たち一人ひとりの責任であり大切なことです。群馬県北部にある尾瀬の貴重な自然は、祖先から受け継ぎ子孫へと引き継いでいくかけがえのない遺産です。

環境保全や森林資源保護といった観点から、尾瀬の美しい自然を守っていくために、行員の自主的な活動として「尾瀬のゴミ持ち帰り運動」を、平成2年から継続的に実施しています。尾瀬の入山者に、当行が作ったオリジナルのゴミ袋を配布しゴミの持ち帰りや自然保護を呼びかけるとともに、自らも進んで清掃活動などを行っています。



オリジナルのゴミ袋を配布しゴミの持ち帰りを呼びかける



### 地域とのふれあい

各地での夏祭りをはじめ、地域の行事や催事などへの参加・協力を通して、地元の皆さまとの交流を深めています。毎年全店で1,000名以上の行員が地域の行事に参加しています。

#### ぐんま県民マラソン

群馬県や前橋市、高崎市、上毛新聞社が主催し、県内外のランナーに広く親しまれている「ぐんま県民マラソン」の第20回大会が、平成22年11月3日に1万人を超える参加者を集めて開催されました。当行では、第1回大会から地元企業として大会に協賛するとともに、運営スタッフとしてのボランティアや選手としてのエントリーなどによる行員の参加を通して、地域の人たちとのふれあいやコミュニケーションを深めています。

第1回大会からの当行行員によるボランティアの延べ人数は、2,000人を超えています。



夏祭りへの参加



ぐんま県民マラソン

## 文化活動

地域文化の向上に貢献したいとの考えから、文化活動を継続的に実施し、また、文化事業の共催や協賛を行っています。

### TOWA県民文化講座

平成2年から、(財)群馬県教育文化事業団群馬県民会館との共催で、文化人や著名人による講演「TOWA県民文化講座」を開催しています。平成22年度は、平成22年9月に小説家の火坂雅志さんを招いて講演いただき、大盛況でした。

過去21年間で38回の開催実績があり、延べ入場者数で約18,000人以上の皆さまに楽しんでいただいています。



火坂雅志さん

### 東和よいこ劇場

子供たちが心豊かに成長することを願い、夢と感動を贈る「東和よいこ劇場」を、平成3年から開催しています。これは「おさんぽ♪さんぽテクテク♪」と、軽快な音楽に合わせて歌ったり、日本の昔話を題材にした物語などを、劇場用にアレンジした色鮮やかな影絵により幻想的な世界を創り出し子供たちに楽しんでもらうもので、お子さまの情操教育に役立つと好評をいただいています。

平成22年5月に群馬県伊勢崎市の「伊勢崎市文化会館」で開催し、700人以上のよいこたちがファンタジックな影絵劇を楽しみました。

過去19年間で37回の開催実績があり、延べ入場者数で約32,000人の皆さまに楽しんでいただいています。



### 萩原朔太郎賞

前橋市と萩原朔太郎賞の会が、前橋市の市制百周年を記念して制定した萩原朔太郎賞に、平成5年の第1回から協賛しています。同賞は、日本近代詩に多大な貢献をした同市出身の詩人・萩原朔太郎の業績をたたえ、もっともすぐれた現代詩を表彰して、日本文化の発展と地域文化の向上を図ることを目的としています。

平成22年度の第18回の受賞作品は、小池昌代さんの「コルカタ」が選ばれました。



小池昌代さん

### 3. 地域サービスによる貢献について

#### 情報サービス・経営サポート

##### ●地域経済研究所

地域のお客さまの事業経営や暮らしに役立つ調査情報の提供、専門家による税金、法律、年金、経営などの相談業務、お取引先の社員研修業務を行っています。また、地域の発展を目的とした受託調査業務も行っています。



| 刊行物・調査     | 内容                   | 平成21年度発行回数 |
|------------|----------------------|------------|
| 経済レポート     | 世界・日本経済について分析・解説など   | 12回        |
| 税務トピックス    | 新税制・改正などについてタイムリーに紹介 | 2回         |
| 企業経営動向調査   | 取引先企業へのアンケートからの分析調査  | 4回         |
| ボーナス支給見込調査 | 取引先企業へのアンケートからの分析調査  | 2回         |

| 相談内容 | 相談日   | 相談時間       | 受付窓口         | 平成21年度相談受付件数 |
|------|-------|------------|--------------|--------------|
| 税務相談 | 火・金曜日 | 9:00~17:00 | 地域経済研究所（本店）  | 464件         |
|      | 水曜日   |            | 地域経済研究所（首都圏） |              |
| 法律相談 | 随時    |            | 地域経済研究所（本店）  | 37件          |

##### ●年金相談会

お客さまの身近にある各支店の窓口で、年金の無料相談会を開催しています。

新たに年金を受給するときに必要となる裁定請求書の作成手続、もらい忘れ年金の調査、年金受給見込額の調査、その他年金に関すること（雇用保険、健康保険等）について、専門の社会保険労務士が相談に応じています。

##### 平成21年度開催実績

86店舗で延べ330回年金相談会を開催し、4,620人からの相談を受けました。その中で、年金に関する相談や手続をお手伝いし、当行の口座へ3,853件の年金振込みを指定していただきました。



##### ●東和新生会

地元企業の発展に寄与できるよう、地域事業者との連携強化を図り組織化しています。

講演会及び各種セミナーの開催、インターネットサービス（略称SIS）、ビジネスレポートサービスなど、各種活動を通じて会員への情報提供やビジネス支援を行っています。これらの情報は、東和新生会ホームページ上で検索することができます。平成22年3月末で会員数は4,844社です。



##### 平成21年度事業実績

| 項目          | 内容                                       | 実施回数 | 参加人数  |
|-------------|------------------------------------------|------|-------|
| 会合          | 定時総会、理事会                                 | 3    | 108   |
| 本部主催セミナー    | 新入社員セミナー、経営者セミナー、ISO9001取得解説セミナー、新春講演会など | 42   | 3,082 |
| 地区・支店主催セミナー | 地区講演会、パソコンスクール、支店セミナー（健康セミナー等）など         | 93   | 4,407 |
| その他事業       | バスハイキング、楽しい陶芸教室など                        | 12   | 355   |
| 合計          |                                          | 150  | 7,952 |